

臼田地区新小学校の建設場所に対する意見募集について

パブリックコメント実施結果

1 意見募集の概要

- (1) 意見募集期間 平成27年11月2日(月)～平成27年12月1日(火)
- (2) 公表方法 ①佐久市ホームページへの掲載
②佐久市役所市民ホール、学校教育課窓口、各支所総務税務係窓口に閲覧用として設置
③臼田地区住民説明会
- (3) 意見募集方法 ①学校教育課へ持参
②郵送
③電子メール
④FAX

2 意見募集の結果

- (1) 提出された意見 38件 20人
- (2) 意見の概要とそれに対する市の考え方 次のとおり

観点等	番号	意見・要望事項	番号	考え方
	400	安全性が第一。防災マップで全体が洪水災害区域に指定されている候補地は論外。	400	浸水想定区域については、佐久市型論点整理手法NO. 186のとおりです。建設候補地の選定については、佐久市型論点整理手法NO. 206のとおりです。ご意見として承り、検討委員会にも報告します。
安全性	401	<p>「あいとびあ臼田東側」は新小学校建設候補地として不適であると言わざるを得ない。</p> <p>(1) 「あいとびあ臼田東側」については、防災マップで0.5mまでの「洪水災害区域」となっている。</p> <p>(2) 「100年に1度の確率では、たいした問題ではない」との意見もあるが、その1度が明日こないとも限らない。H23年3月の東日本大震災以降、火山の噴火、大雨による災害が頻繁している。このような中では“予見される”洪水に対して万全の備えをしておくのが「危機管理」の鉄則である。</p> <p>(3) 0.5m程度は、中学生や大人にとってはさほど大したことのない深さかもしれない。しかし、小学1～2年生の視点から考えれば、膝上までくるかなりの危険な状況も考えられる。</p> <p>(4) 子ども達の生命を脅かすような危機的状況にならないまでも、候補地の周囲は一面が「洪水災害地域」となっているとすれば、一度洪水が起これば、新小学校の周りは一面向水し、まるで「水攻めに遭った城」のような状況が想定できる。学校から出ることも、学校に入ることも容易ではなくなってしまう。</p> <p>※近くにある臼田中学校もあいとびあ臼田も同様で、「広域避難所」の機能が失われる。危険分散の意味からも、ここに新小学校を建設することは適切でないと思う。</p> <p>(5) 洪水がおさまれば、水が引けても、通学路には流木や様々な残骸が残され、これを撤去して安全な通学路を確保するのに、更には校庭の整備や、仮に新小学校の1階に泥水が流れ込むようなことがあれば、それをしっかり除去して「学校としての機能」を完全に回復するまで1～2日程度では済まない。この間、学校の教育機能は完全にマヒする。</p>	401	浸水想定区域については、佐久市型論点整理手法NO. 186のとおりです。建設候補地の選定については、佐久市型論点整理手法NO. 206のとおりです。ご意見として承り、検討委員会にも報告します。
	402	<p>現地建て替えとなる「臼田小学校」については、建設工事の期間、子ども達の「安全確保」ができるのかとの声がある。しかし、「あいとびあ臼田の東側」の危険は天災によるもので、人間の力では防止しきれない側面があるが、建設工事に伴う「危険」は、人為的なミスによるものが大半である。</p> <p>既に佐久市では、新設された佐久平浅間小学校以外は、最近は全て現地建て替えを行って来ている。その関係で、校舎改築期間中における子ども達の安全確保については、佐久市教育委員会では幾多の事例から既に確かなノウハウを持っていると思う。</p>	402	浸水想定区域については、佐久市型論点整理手法NO. 186のとおりです。現地建て替えの安全面については、佐久市型論点整理手法NO. 204のとおりです。ご意見として承り、検討委員会にも報告します。

観点等	番号	意見・要望事項	番号	考え方
安全性	403	<p>1、佐久総合病院再構築に伴う臼田まちづくり事業が行われているが、コンパクトニューシティ「ウエルネスうすだ」が副題となっている。ここでは、医療・健康・福祉を中心に4つの基本目標を掲げ、人口増加と地域の活性化をめざしている。健康活動サポートセンターの建設、特別養護老人ホーム勝間園の町中心地への移転、臼田支所のリニューアルなどの事業が進められている。また、お年寄りや子どもたちなど住む人にやさしい歩道の整備計画など旧臼田町の中心地としての役割を果たすべく事業が進められている。</p> <p>小学校は地域の核となる学校教育施設であると同時に、体育館、屋外運動場など社会教育施設でもある。様々な公共施設を中心に配置するには以前は異論があったが、少子化、超高齢化を迎える今日、公共施設の集中による商店街の賑わいを取り戻すことも必要になってきた。商店街の活性化は住む人の安心感とともに周辺町村からの交流人口の増加にもつながる。市は、臼田地区を「生涯活躍のまち構想」の第1候補として、高齢者の移住をめざしているが、日常生活の中で、お年寄りも子どもも交流し合える住みやすい町が求められている。臼田地区に小学校があることはそうした面からも重要である。</p> <p>2、学校は災害時の広域避難所として拠点施設となるので、体育館や校庭などの避難場所の確保は地域ごとに整備する必要がある。千曲川の東地域には臼田中学校、総合福祉センターあいとびあ臼田もあるが、西側には佐久平総合技術高校があるのみ。こうした意味でも臼田地区に小学校は必要である。</p> <p>3、経済性の面からも、敷地の確保されている場所への建替えが他の候補地と比較して有利。景気の低迷と生産年齢人口の減少により市民税収は減少を続けている。また、合併特例期間が終了し、普通地方交付税が減額し続け、一般財源の確保は困難となる。</p> <p>新設の佐久平浅間小学校は、土地代金と造成費で約9億円。こうしたことから、まず、現地建て替えを優先して検討するべきだと考える。</p> <p>4、なお、総合福祉センターあいとびあ臼田の東側の農業振興地域の優良水田については、洪水災害区域であり、建築は不可能ではないとのことですが、選択肢から外すべきだと考える。記憶に新しいところでも平成11年8月の大洪水、雨川の決壊、平成16年10月の雨川の氾濫など、臼田で最も危険な場所である。当時の消防団経験者の言では「11年には土嚢を4000個も積んだ。あそこは絶対ダメ」とのこと。千曲川河川事務所の記録も調べた上で最適な候補地を決定すべきである。</p>	403	<p>建設候補地の選定については、佐久市型論点整理手法NO. 206のとおりです。</p> <p>広域避難所については、佐久市型論点整理手法NO. 192のとおりです。</p> <p>浸水想定区域については、佐久市型論点整理手法NO. 186のとおりです。</p> <p>ご意見として承り、検討委員会にも報告します。</p>
	404	<p>観点はどれも大切だと思う。順位づけをあえて考えてみたがそれぞれを考慮して選定して欲しい。選定にあたって子ども達のための子ども達の学校であるべきだとそれを大切に考え選定していただきたいと考える。</p> <p>防災マップは、千曲川を対象としたものであるという説明を各委員・説明会で皆さんにきちっと周知してもらいたい。</p> <p>他の候補地にも河川・水路等があり、防災マップの調査対象となっていないが、防災マップ上想定される豪雨等があった時、それらも浸水する可能性があるということ。</p> <p>こういうことを考え他の条件も含めて平等の資料のもと、冷静に判断をしてもらいたい。</p>	404	<p>建設候補地の選定については、佐久市型論点整理手法NO. 206のとおりです。</p> <p>浸水想定区域については、佐久市型論点整理手法NO. 186のとおりです。</p> <p>ご意見として承り、検討委員会にも報告します。</p>

観点等	番号	意見・要望事項	番号	考え方
安全性	405	<p>このたびの小学校建設、子ども達の学びの場を検討するうえで、恵まれた土地の環境を活かしてもらいたいことはもちろんだが、建設候補地選定の観点として最も優先して検討してもらいたいのは「安全性」。</p> <p>建設候補地を防災マップの地図上で見ていると、洪水災害区域に指定されている候補地があることに驚いた。</p> <p>昨今、百年に一度といわれるような自然災害が全国で発生し、被災者から聞こえてくるのは「まさか、ここまで被害に遭うとは思わなかった」「この地は大丈夫だと思っていた」・・・という言葉。</p> <p>安全をどのように確保し、いかに危機意識を持った行動をするかは、各人の重要な要素と考える。そして、その意識や体制を個から地域へ広め、整えていくことを求める。</p> <p>この考えのもと、災害の危険が想定される地域へ子ども達を通わせることに不安を感じる。さらに、広域避難場所として地域の方は黄色信号の場所へ行きたいと思えるのか。安全性の観点は、いま想定されている以上に慎重に検討してほしい。安全性に対して過信することなく、検討してほしい。</p>	405	<p>浸水想定区域についての考えは、佐久市型論点整理手法NO. 186のとおりです。</p> <p>建設候補地の選定については、佐久市型論点整理手法NO. 206のとおりです。</p> <p>ご意見として承り、検討委員会にも報告します。</p>
	406	<p>1、安全性 洪水災害区域に指定されている候補地は、「安全性」の観点から候補地から外すべきだと考える。 近年の異常気象による自然災害の大型化と発生率の増加は、時には想定外の災害をもたらしている事は、誰もが感じていることだと思う。そのような中、都道府県や各自治体では防災計画を見直し、個人レベルでも防災意識をしっかりと持ってもらうように働きかけている。そのような最中に、それに逆行するように「洪水災害」が想定されているところを、敢えて候補地としている事には疑問を持つ。 地元の市民を巻き込んで考える（選ぶ）のではなく、百年の計をもって、行政主導で、「自然災害に対する考え方や方針」として、地域市民にしっかりと示していくべきだと思う。</p> <p>2、経済性・工事の円滑性 専門的な見地から、実現・実効性がある場所にする事は、大前提であると考え。</p> <p>3、通学 4、まちづくり・地域づくり 5、環境 地域市民で考え、少しずつ作り上げていくものだと思える。</p>	406	<p>浸水想定区域についての考えは、佐久市型論点整理手法NO. 186のとおりです。</p> <p>建設候補地の選定については、佐久市型論点整理手法NO. 206のとおりです。</p> <p>ご意見として承り、検討委員会にも報告します。</p>
環境	407	<p>候補地決定については、やはり一番大事なのは「委員会」が打ち出している「目指す学校の姿」から生み出される「観点」を大事に考えて、ここ臼田の子供達が素晴らしい学校生活をおくれるようにお願いしたい。「川の向こうだ、こっちだ」という綱引き等で決めないように切にお願いしたい。</p> <p>千曲川は確かに臼田地区を東西に分断していて、建設地決定にも支障がありそうである。しかし、南から北へ流れる千曲川は私たちの心のふるさとであり、清流と背景に聳える浅間山は何と言っても佐久を象徴する風景である。</p> <p>将来ある子どもたちに、ふるさとの自然の中で心が癒され、温かい人間関係が育まれるような学校を作ってもらいたい。</p>	407	<p>ご意見として承り、検討委員会にも報告します。</p>
	408	<p>あいとぴあ臼田の東側は細長い、東側に小海線、西側の道を広げるとなると、もっと細くなり、施設の配置が困難だと思う。</p>	408	<p>建設候補地の選定については、佐久市型論点整理手法NO. 206のとおりです。</p> <p>ご意見として承り、検討委員会にも報告します。</p>

観点等	番号	意見・要望事項	番号	考え方
環境	409	<p>新小学校建設場所で一番望む事は、建設場所周辺の環境である。</p> <p>一概に環境といっても学校施設、ロケーション、接道、周辺施設等色々あるかと思うが、一番はロケーションを含めた自然的な学習環境に恵まれている事を望む。</p> <p>ハケ岳、浅間山そして稲荷山(コスモタワー)といったその地ならではのロケーションが一望でき、周辺は住宅及び施設密集地ではない開放感がある場所が望ましい。</p> <p>小学校スクールバスを利用する場合は経済性を考慮し、スクールバスの送迎回数の少ない事も建設場所選定の要因の1つにあげても良いと思う。</p>	409	<p>建設候補地の選定については、佐久市型論点整理手法NO. 206のとおりです。</p> <p>ご意見として承り、検討委員会にも報告します。</p>
まちづくり・地域づくり	410	<p>学校がその地域の核であることは歴史的にも周知のこと。各地域の核であった学校の跡地利用も話題にするべきである。</p>	410	<p>佐久市型論点整理手法NO. 392のとおりです。</p> <p>ご意見として承り、検討委員会にも報告します。</p>
	411	<p>「まちづくり・地域づくり」の観点からしばしば、「縦割り行政」が問題とされることがある。小学校建設計画の推進は「教育委員会」が中心となることに異論はないが、小学校はまた「まちづくり・地域づくり」にとっても実に重要な役割を果たす。ならば、教育委員会的な視座からだけではなく、他の部署との連携による本格的な「まちづくり・地域づくり」への関わりも考える必要があると考える。</p>	411	<p>ご意見として承り、検討委員会にも報告します。</p>
	412	<p>佐久市では現在「地方版総合戦略」の中で、佐久市版のCCRC構想により、首都圏から第2の人生を地方に移住して始めようとする皆さんを積極的に迎え入れようとする計画を進めていることから考えたとき、新小学校を「現臼田小学校」の場所に建設し、移住されてきた皆さんの力をお借りしながら、現在長野県教育委員会が推し進めている「信州型コミュニティスクール」の構想を、新臼田小学校を中心として実現を図るならば、子ども達にとっても、移住者のみなさんにとっても、更に地域のみなさんにとって大きなメリットが期待できる。まさに新臼田小学校が「まちづくり・地域づくり」に大きく貢献すると思う。</p>	412	<p>ご意見として承り、検討委員会にも報告します。</p>
	413	<p>コンパクトシティの構想で大きな夢を描けるのは、千曲川河川敷の公園化を含めて臼田小学校がいろいろ出来そうです。心をはぐくめる新しい学校としてよりよいスタートが切れるよう、今からいろいろアイデアを考えていきたい。</p>	413	<p>ご意見として承り、検討委員会にも報告します。</p>
	414	<p>臼田町(旧)としてのバランスからみても、現臼田小が適切である。中学校、あいとびあ、川村記念館、弓道場など片寄った建設で、町内がおきざりになって魅力が失われつつある。若い住民が少なくなり、児童数の増加が望めなくなった。</p> <p>街全体として、若者が減少、商店の活気がなくなり小満祭などの行事の運営も困難になると思う。</p> <p>臼田小は商店、支所、病院、稲荷山も近く社会見学、自然観察の学習、臼田高校との作業も有効、校庭も充分あるのに、児童数の減少のため統合をせまられ残念。</p> <p>減少の原因として、臼田地区に勤務しながらやむなく別の市町村から通勤する方も多いこと、住まいが得にくいということもあるので、市としても土地や住宅の紹介あっせんなどの対策を考えてほしい。</p> <p>これは学校の充実のためでもあり、医療の充実にも関連すると思う。</p>	414	<p>ご意見として承り、検討委員会にも報告します。</p>

観点等	番号	意見・要望事項	番号	考え方
経済性・工事の円滑性	415	経済性・工事の円滑性といっても、場所を選定する段階では、地権者の同意が得られているか得られていないのかがはっきりしていなければ検討のしようがないのでは。盛土が何立方メートルといわれても委員さんは判断しかねるのではないか。	415	今後検討委員の皆さんに協議いただき、候補地を選定するための条件を決定していきます。
	416	行政からの視点、経済性、工事の進めやすさを優先させ、将来の子ども達の安全への配慮を怠ることの無いようにしてほしい。	416	ご意見として承り、検討委員会にも報告します。
	417	千曲川に歩行者用の通学橋の建設を要望する。統合中学校建設時、臼田小の近くから対岸の中学校へ渡る歩行者用の通学橋の建設がうたわれていたが、実現せずに今日に至っている。国の仕事かもしれないが、佐久市として強力に推し進めて欲しい。 臼田小に決定した場合、グラウンドに校舎を建てるのではなく、第一体育館を取り壊して教室を作り始めだんだんに取り壊し、建設する方法は全く不可能なのか検討をお願いしたい。まだ設計にはならないと思うが、この用地にこのように配置を考えるとといった大まかな具体が見えると、もっといろいろな建設的な提案が出てくるのではないか。	417	臼田小学校に限らず、他の候補地につきましても、建設地が決定してから基本計画、基本設計、実施設計を行い、建物の配置等を決めていくこととなります。
建設場所	418	現地での建て替えの場合、改築される学校に統合されるようなイメージがある。また、運動会をはじめ多くの児童の学習環境に影響があるため、新たな場所に新小学校を建設し、一斉に使用した方が平等。	418	建設候補地の選定については、佐久市型論点整理手法NO. 206のとおりです。 ご意見として承り、検討委員会にも報告します。
	419	候補地が4箇所に決まったようだが、小中一貫校的な場所には賛成できない。 9年間同じ場所では、学校が仲良しクラブになり、そのうえ環境も変化なくマンネリ化してしまい、高校や社会に出てから、競争社会に押しつぶされてしまうのではないか。せめて小中別の場所で教育した方が、子ども達も環境が変われば新鮮さや緊張感も生まれ良いと思う。 また、安全面からも、あいとびあ付近は洪水危険区域にあるところは絶対反対です。私は現臼田小を立て替えて造るべきだと思う。 市では佐久病院を中心にコンパクトシティを目指しているので、学校も子供も良い環境になるし、学校の回りには人の目もあり、緊張感のある生活ができる。 もう一点は、子供の数が新小学校が出来るころは、一学年100名を切ってしまうので、現臼田小の敷地をうまく使えば間に合うのではないか。そうすれば建築費も安く済む。 現臼田小には使用されていない教室が多いと思うので、子供達には悪いが、少し狭いところで我慢してもらえば建て替えが出来ると思う。	419	建設候補地の選定については、佐久市型論点整理手法NO. 206のとおりです。 ご意見として承り、検討委員会にも報告します。

観点等	番号	意見・要望事項	番号	考え方
建設場所	420	<p>新小学校の建設は、各地域のエゴにとらわれることなく、工事の都合や経済性の面を重要視するのではなく、今後臼田地区で学ぶ子供たちが安全、安心して心身共に鍛え学ぶことができるかが一番のポイントになると考える。</p> <p>1 青沼小学校周辺土地も十分にあり、開発しやすいと思うが、近隣に主たる施設が見当たらず、地域の目も少なく、犯罪、事故に対する心配が多く懸念される。また、通学面でも南に偏り過ぎ、子供への負担が大きいと感じこの地区での建設は見送るべきだ。</p> <p>2 あいとびあの東側は新しい土地で新しい校舎は理想だが、この地区は洪水災害地区に指定されており、万が一のことを考えれば絶対に新小学校を建設してはいけない土地であると考え。自然災害の猛威は必ずしも想定内ばかりではない。他に場所がないのであれば仕方がないが、十分にあるのでこの地区での建設は反対。</p> <p>3 臼田小学校は、敷地、立地面においては問題ないと思う。しかし、建設期間中の校庭使用や、工事車両出入りの危険、土地の広がる可能性が無い等賛成できない面も残されている。臼田の中心地区であり、地域の目も多くあり候補地としては1、2よりも高いと考える。</p> <p>4 コスモホールの西側は、県道のバイパスが予定されている土地に隣接しており、周囲の目も行き届き、周りには土地もあり拡充の要素も含まれた発展性の高い土地であると考え。通学にしても4地区からはさほど偏りもなく問題もないと思う。車社会の現在、運動会など駐車場の問題が起こるかもしれないが、コスモホールの駐車場を借用できれば解消する。また、新小学校の誕生でもあるので子供たちには新しい校舎でスタートさせてあげたいと思えばこの地が一番適していると思う。</p> <p>以上のことから「コスモホール西側」が最適土地ではないかと考える。くれぐれも行政の都合や、工事面、経済面だけでなく、未来を担う子供たちに対し特に安心、安全面へのご配慮をお願いします。</p>	420	建設候補地の選定については、佐久市型論点整理手法NO. 206のとおりです。ご意見として承り、検討委員会にも報告します。
	421	<p>4地区の公図に基づいて建物配置を落とし込んで柔軟な計画を希望する。特に緑地を多くしてもらいたい。また、1箇所ずつの公図に基づいた計画に対して論議をしてほしい。</p> <p>将来に向かって学校建設用地については、重大な町作りになるので、検討委員以外に臼田地区全員の区長の参加を希望します。</p>	421	建設候補地の選定については、佐久市型論点整理手法NO. 206のとおりです。ご意見として承り、検討委員会にも報告します。

観点等	番号	意見・要望事項	番号	考え方
建設場所	422	<p>あいとびあ臼田の東側は、整形、近隣に中学校、あいとびあ臼田があり、教育や地域の連携という点で優れているが、周辺の住宅地の影響、小海線の安全に対する影響、騒音などの影響が懸念される。</p> <p>しかし、最も気になるのは洪水災害区域であること。災害の危険が予測できる場所にあえて建てるということは考えられない。</p> <p>コスモホールの西側は、保育園、幼稚園、コスモホール等があり、地域の連携に優れている。りんごの産地に近いのも良い。しかし、バイパスに接することになり、交通の便が良い反面、危険度が増す。また、浅間山、八ヶ岳の眺望はあまり望めず、広域避難場所はコスモホールが指定されているので、あえて増やす必要がない。</p> <p>臼田小学校は、学校としての環境が一番適していない。自然が少なく、不整形で、工事にも商店街、通学路を通っての工事は考えづらい。</p> <p>病院関係の施設を誘致することを考えた土地利用を進めていってほしい。</p> <p>青沼小学校及び周辺は、最も過疎化の進んだ地区だと思いが、最も自然環境に優れた立地であると思う。佐久平や岩村田のような環境ではなく、臼田で学び育つ子ども達に望むのは、自然に親しみ、何ものにも代え難いすばらしい自然というものを知っている、たくましい田舎の子であってほしい。</p> <p>北に浅間山、南に八ヶ岳を臨み、その雄大な姿を眺めながら過ごす6年間は、臼田という場所の原風景を植え付けるには持って来いだと思う。他にも谷川での川遊び、農業体験、田んぼスケートの楽しみも味わえる。</p> <p>通学も、3km、4km歩かせるよりも、バス利用ということになると思うが、青沼は小海線青沼駅より徒歩5分程度なので、臼田駅、龍岡城駅近辺からは小海線を利用する事も可能。小海線の活性化にも寄与できるのではないかと。さらに逆を言えば、社会学習においても小海線を利用しやすく、徒歩での移動時間を掛けることなく学習に時間を割けると思う。</p> <p>広域避難場所についても、田口地区には中学校、臼田地区には高校、切原地区にはコスモホールがあるが、青沼地区には無くなってしまう。</p> <p>立地として町の端部寄りに位置するため、通学や地域連携には課題が残ると思うが、それぞれの候補地が一長一短ある中で、青沼の自然環境に優れた魅力は補って余りあるものだと思う。</p>	422	<p>建設候補地の選定については、佐久市型論点整理手法NO. 206のとおりです。 ご意見として承り、検討委員会にも報告します。</p>
	423	<p>臼田地区はもともとが町であり、どちらかという田舎に属するエリアだと思う。そんな中で育つ子供達に望むのは、やはり自然に親しんだ、自然というものを知っている田舎の子であって欲しいということである。</p> <p>今回の候補地選定理由にも記述があるように、青沼には北に浅間山、南に八ヶ岳という、東信の中でも佐久という地域の占める原風景とも言うべき景観を、何の障害もなく見渡せるという素晴らしい環境がある。</p> <p>他にも農産物の栽培や、谷川での自然学習、冬の田んぼリンクでのスケートなど、自然に親しむにはもっとも適した環境である。</p> <p>他にも理由はあるが、上記が最も大切な要素だと思う。そういった理由から、青沼地区の景観を推したいと考える。</p>	423	<p>建設候補地の選定については、佐久市型論点整理手法NO. 206のとおりです。 ご意見として承り、検討委員会にも報告します。</p>

観点等	番号	意見・要望事項	番号	考え方
建設場所	424	<p>4つの候補地の中では、臼田小学校がいいのではないかと思う。</p> <p><理由></p> <p>①水害等の心配がなく、子ども達の安全、安心が確保される場所である。</p> <p>②千曲川や、雄大な浅間山を望むなど自然環境に恵まれ、郷土愛や温かい人間関係が育まれる。</p> <p>③子ども達に必要な社会性を学ばせられる公共施設が近くにある。</p> <p>④何といても経済性に優れている。</p> <p>⑤「スクールバスの出入りの場所がない」という指摘への対策としては、4キロ以上の通学児童の為にバスが必要であるが、バスで学校の敷地まで運ばなくてもいいのではないか。3キロを超す遠距離を歩いて来る子のことを考えれば、少しぐらい歩かせたい。そのため、バスの発着場所は、千曲川の河川敷にしたらどうか。学校まで5分くらいの徒歩は最低必要である。便利にすればするほど、子ども達の脚は弱くなる。保護者の理解も得られると思う。</p> <p>⑥臼田の持つ歴史性から臼田はかつて南佐久郡の郡都として、政治、経済、文化等の中心地であった。教育面でも各町村にあった小学校のまとめ役を担う中心校であった。</p>	424	建設候補地の選定については、佐久市型論点整理手法NO. 206のとおりです。ご意見として承り、検討委員会にも報告します。
	425	<p>臼田地区新小学校建設候補地について、「コスモホールの西側」を希望する理由</p> <p>安全性 ①災害区域に指定されていない。</p> <p>②周辺の道路整備が進んでいる。(高速道、国道、県道、市道)</p> <p>③消防署、警察署、病院等が近くにあり緊急時の対応が可能</p> <p>④市街地の中にあるので登下校における児童の事故防止対策を強化できる。</p> <p>まちづくり・地域づくり ①「新しい小学校が目指す学校の姿」として重視されている「地域づくり関わる学校」とは、臼田地区旧町村の一体化をさらに進めるための中心的教育施設として重要な役割をになう「新小学校」である。地域住民の臼田村意識を発展的に解消し、地域の人々が学校を中心に結集し「我がふるさと臼田」を子ども達が誇れるようにすると言う検討委員会の基本的考え方を実現するにふさわしい候補地である。</p> <p>臼田地区の将来を展望して地域づくりを検討した「まちづくり委員会」はコンパクトシティ構想を提案した。これは公共施設や医療機関があり生活の利便性の高い地区を整備して、そこを中核として地域の発展を目指すもので、佐久総合病院の前に計画されている「健康館」はその具体化の現れである。「新小学校」がこの地区の中に建設されるならば地域づくりに大きな力になると思う。</p> <p>「新小学校が目指す学校の姿」においても「地域と共に発展する学校」を求めていることから「佐久市型コミュニティスクール」のモデルとなると思う。</p> <p>通学 建設候補地の課題として「国道141号線をわたる児童が多い」と指摘されているが、地勢が東西に分かれている地域においては他の候補地においても同じ課題をかかえており、子どもの安全な登下校のためには道路の改良と地域住民みんなの見守りが欠かせないものである。</p> <p>より望ましい学びの環境の中に新小学校を地域内に現存するコスモホールの教育的活用、図書館の利用などを組み込んだ学習活動ができる望ましい学びの環境の中に新小学校を建設して欲しい。</p>	425	建設候補地の選定については、佐久市型論点整理手法NO. 206のとおりです。ご意見として承り、検討委員会にも報告します。
	426	<p>アンケート用紙内に何を一番重要視するかにおいて、「安全性」の中に広域避難所として適切かとなりましたが、説明会資料P3、新小学校が目指す学校の姿の「地域づくり」の中に「避難場所となれるか」とあるので、アンケートの観点でも、「地域づくり」の枠に入れるべきだと思いました。通学も環境も工事の面にも「安全」は求められる為、又、どういった学校をつくるかにも焦点をあててほしいです。</p>	426	ご意見として承り、検討委員会にも報告します。

観点等	番号	意見・要望事項	番号	考え方
その他	427	<p>4小学校を1校にするというのは千曲川によって2分されている臼田地区では地理的にも心理的にも抵抗を感じる。また教育的な面からみても小学校は300名前後（学年2クラス）が理想的で、それ以上大規模にしてはならないと、米国でいくつも小・中学校を開校して大成功させた教育学者デボラー・マイヤーが著書（「学校を変えるカ・・・イースト・ハーレムの小さな挑戦」）でも述べている。私も経験上同感。1校でなく、臼田と切原、田口と青沼の2学校が理想的で2校にしたからといって、30年後にまた1校にした校舎を新築しなければならないという状況は考えにくいと思われる。</p> <p>児童の側にたってみれば、中学校に進学して「川向こうの新しい友だち」とも出会えたことにより、新鮮でよい意味の緊張感をもって中学校生活を出発できるのではないか。1学校にした場合は、小中9年間も同じ人間関係で学校生活を送ることになる。</p>	427	<p>臼田地区の児童推計を見ると、仮に2校に統合した場合、どちらの学校も各学年2クラスの編制になりますが、数年後には川東の学校で1クラスになる学年が出てくる見込みです。</p> <p>また、学校施設の老朽化により、4小学校とも耐震改修はされていますが、30年後に1校に統合する場合は新たな校舎を建築しなければなりません。</p> <p>小中学校の9年間の中でクラス替えを行うことにより、新たな人間関係で学校生活をおくれます。</p>
	428	<p>1校でなく、2校建設、あるいは2校現地建て替えにした場合、経費はどのくらい増加するのか。2校建設は全く不可能なのか。</p>	428	<p>佐久市型論点整理手法NO. 90のとおりです。（臼田地区に新しい学校を整備する時には、2校の場合、1校より規模は若干小さくなるので、単純に2倍ではなく、1校の1.6～1.8倍ぐらいの事業費になるものと考えられます。）</p> <p>1校に統合することが決定されているので、2校建設は考えておりません。</p>
	429	<p>統合を白紙に戻し、再編計画を練り直すべきである。</p> <p>理由は、校舎について30～50年間使用するので、長期的な展望を優先すべきである。</p> <p>また、人口の減少に対する歯止め策が考えられていない。教育委員会の予想は現在の生徒数の短期間の推移であるが、佐久市人口ビジョンでは2050年の臼田地区の14歳以下の人口は現在の半分近くになると予想している。若い世代の移住条件に学校が近いことが挙げられていることを考えれば、統廃合は更なる過疎化につながることは明らかである。現在の住民の状態や意見だけで決めることは間違いである。先ず行うべきことは、将来像を検討することである。</p>	429	<p>過疎化につながるということは、小学校が無くなることだけが原因ではないと思います。</p> <p>臼田地区の小学校について、4校を1校に統合するということは、子ども達が適正な規模で勉強ができ、切磋琢磨して人間性を培えるなど児童の将来を思い、臼田地区の皆さんが選択された経過があります。</p> <p>臼田がこれで過疎化するというのではなく、新しい学校を核にして、いかに盛り上げていくかということ、今後皆さんでお考えいただくことが大切なことと思います。</p>
	430	<p>統廃合は臼田地区だけの問題ではない。</p> <p>浅科、望月地区には過疎指定されている地域もあるし、鉄道もなく、地形も概して厳しい。つまり臼田地区より条件は厳しいのである。</p> <p>周辺地域が衰退しても佐久市だけが繁栄するということは考えられないし、市内の一部地域だけが繁栄すれば市内の格差が拡大してもよいということにはならない。</p> <p>市の総人口を指標とするのではなく、地域毎（合併前の市町村より狭い地域を単位とする）に「より悪くない地域社会」を検討すべきである。</p>	430	<p>臼田地区の小学校統合を検討している教育分野では解決できる問題ではないので、ご意見として承ります。</p>
	431	<p>学校再編も考えるべきである。</p> <p>現在の6・3制は義務教育を9年とすることから始まった。中卒で都会に集団就職することも珍しくない時代もあった。</p> <p>高校への進学が当然の様に考えられる一方で、専門学校の選択や海外留学を含め、進路は多様化している。</p> <p>一方、PISAの成績やICTの発達から教育の在り方を根本的に見直すべきだとの意見もある。</p> <p>公立校でも、小中一貫校、中高一貫校、の何れも試みられているという段階にある。初等教育を6年間とすることが見直されるかもしれない。</p> <p>その様な展望も含めて、地域に必要な学校とは何か、各年代で何を学ぶべきなのか、という議論を広く行うべきであり、その中で統廃合も検討すべきである。</p>	431	<p>ご意見のとおり、学校教育は時代と共に変遷し、今後どのような学校教育が良いか社会情勢と共に議論されていくと思われま。今後の国の方針も踏まえながら、佐久市として対応していきます。</p>

観点等	番号	意見・要望事項	番号	考え方
その他	432	障害があるなど、通学が困難な子どもに対する配慮をどうするつもりか	432	臼田地区に限らず遠距離通学となる場合には、小学校では、原則学校までの片道が4km以上の場合、補助要綱によりバス・鉄道の定期券の交付や通学バス等の運行により補助を行っています。障がいによる通学補助等については、現在のところ行っていません。
	433	経済的に苦しい家庭の実質的な負担や子どもの学校外での生活（通学を含む）への配慮はどうか	433	臼田地区に限らず、経済的な理由により就学困難と認められる場合、現行の支給要綱の中で学用品をはじめ、通学用品・給食費等について支援しています。今後も継続して実施していきます。
	434	子どもの権利条約の遵守についてどう考えるか	434	子どもの権利条約は、国連総会において採択されたものであり、尊重すべきものと考えております。
	435	ICTや交通手段の利用が考えられていない。現在ではネットを利用すれば場所が離れていても一つの教室の様に運営することも可能である。また、バスで別の学校と一緒に移動することも容易である。つまり、遠くの校舎に通学しなければならないという必然性は薄れ、校舎が分かれていても一つの学校の様に運営することは可能である。一方、教材の準備や教え方についても、複数の学校で分担して行った方が効率も良いし、質も向上する。少人数だから複数学級にしなければならないという時代ではない。	435	これまでの協議の中で、臼田地区の小学校について、4校を1校に統合するという事は、子ども達が適正な規模で勉強ができ、切磋琢磨して人間性を培えるなど児童の将来を思い、臼田地区の皆さんが選択された経過があります。
	436	来年2月頃を目途に建設地の決定をする予定とのことですが、校舎の現状、耐震診断結果等から、4小学校全部が安全上あと10年は使用不可能なのか。	436	平成20～21年度に耐震補強を実施しており、耐震面に関しては問題ありません。老朽化はあるものの、修繕等で対応する中で10年程度は使用可能と判断します。
	437	ある地区説明会の中では学校給食施設も老朽化が進んでいると聞いた。今回整備される小学校ではぜひ、学校給食施設も同じ敷地内での整備をして欲しい。臼田地区にも学校給食応援団というものが出来ると聞いた。望月は中学校に、浅科は小学校にそれぞれ給食施設があるということなので、この地区も整備をして欲しい。	437	学校の建設場所が決まってから、学校給食臼田センターの改築の時期、場所につきましては今後、検討していきます。臼田地区の給食応援団は、本年6月に発足しております。